

ふるさと探勝会&茨城同窓会各位

平成 25 年 8 月 8 日

ふるさと探勝会 会長：吉村 政一

茨城同窓会 会長：矢野 正義

群馬県太田市周辺史跡巡り(ふるさと探勝会第 53 回例会、茨城同窓会共催)

猛暑が続いておりますが、皆様いかがお過ごしですか。

さて第 53 回例会として、茨城同窓会と共催で、「群馬県太田市周辺めぐり」を下記のとおり行います。太田市というと、太平記の中で活躍する「新田義貞」が有名です。また、徳川発祥の地でもある新田荘遺跡や、戦国期関東 7 名城の 1 つとされた金山城跡を中心に史跡巡りを行います。

皆様のご参加をお待ちしております。(幹事：太田、友崎、葛貫)

記

1. 実施日

平成 25 年 9 月 22 日 (日) 雨天決行

2. コース

石岡駅西口 (7:10 発) — 赤塚駅 (7:40 発) — 茨城大生協前 (8:00 発) — 水戸スマート IC — 壬生 IC (9:00 ~ 9:10: トイレ休憩) — 太田桐生 IC (9:50 着) — 大光院 (10:05 ~ 10:30) — 史跡金山城跡ガイダンス施設 (10:40 ~ 11:00) — 金山城跡 (11:00 ~ 11:50) — みかわ新田店 (昼食・12:10 ~ 13:10、昼食代 1,200 円) — 新田荘遺跡 (13:30 ~ 15:00) — 道の駅 (お土産) (15:10 ~ 15:40) — 太田藪塚 IC (16:00) — 壬生 IC (16:45 ~ 16:55 トイレ休憩) — 水戸スマート IC (17:45) — 茨城大生協前 (18:00) — 赤塚駅 (18:20) — 石岡駅西口 (~18:50)

3. 集合場所&集合時間

- (1) 茨大生協前 7:50 集合
- (2) 石岡駅西口バスターミナル前 7:10 集合 (上り 6:57 着、下り 6:59 着)
- (3) 赤塚駅 7:30 集合 (上り 7:28 着、下り 7:25 着)

4. 申込みについて

- (1) 募集人数：28 名 (応募が多かった場合、大型バスに切替 40 名)
- (2) 参加費：バス代他 3,600 円 (大型バスの場合+1,000 円)、昼食代 1,200 円 (非会員は 600 円追加徴収)
- (3) 申込み方法：申込み期間 8 月 10 日 (土) ~ 8 月 30 日 (金) 出欠と集合場所を会長宛て (電話 029-840-2424、または E-mail：m-yoshimura@bird.ocn.ne.jp) にご連絡下さい。

5. 当日の連絡先

葛貫 携帯電話：090-6128-4074

友崎 携帯電話：080-1088-3914

6. みどころ

1. 新田荘遺跡（にったのしょういせき）について

新田荘は、平安時代末期の12世紀中頃に成立した荘園（しょうえん）である。源義国（源義家の子）を父とする新田義重は、太田市西部の早川流域を再開発して19郷を支配下においた。義重はその後さらに37郷を開発し、太田市西部を荘園化した。新田義貞は義重から数えて8代目にあたる。国指定史跡の新田荘遺跡は寺社境内・館跡・湧水地など11の遺跡から成る。

太田市史跡探検ガイドマップより

2. 歴史公園（新田荘歴史資料館、東照宮、長楽寺）

（1）新田荘歴史資料館

新田荘歴史資料館の旧名称は「東毛歴史資料館」。東毛広域市町村圏振興整備組合から新制太田市への移管に伴い改称し、平成21年4月に開館された。主な展示物は、新田氏、新田荘遺跡に関わる歴史資料や遺跡から出土された縄文式土器、埴輪、長楽寺・東照宮の文化財などが展示されている。

（2）長楽寺

長楽寺は、太田市世良田町歴史公園内にある天台宗の寺院。本尊は釈迦如来。隣接して東照宮がある。境内は「新田荘遺跡」の一部として国の史跡に指定されている。1221年（承久3年）徳川の祖と言われる（得川）世良田義季（よしすえ）（新田義重の子）が長楽寺を創建し、臨済宗の僧栄朝を招いて開山した。当初は臨済宗であったが、徳川家の祖とされる「義季」が創建したとされることから徳川家の帰依を得、江戸時代江戸幕府に起用された天台宗の僧天海により天台宗に改宗となった。

（3）東照宮

太田市（旧新田郡尾島町）世良田町歴史公園内にある神社である。「東照大権現」としての徳川家康を祭神とする東照宮の1つである。1617年（元和3年）に久能山東照宮より日光東照宮へ家康の遺骸を改葬した際に建てられた社殿を、1644年（寛永21年）に上野国世良田へ移築し、創建されたものである。太田市内の他の社寺、館跡とともに「新田荘遺跡」として国の史跡に指定されている。



この地は新田氏の開祖新田義重の館跡とされ、隣接する長楽寺には義重の供養塔もある。後に徳川氏は、新田氏から分立した世良田氏の末裔を自称していたため、徳川氏ゆかりの地とされている。

3. 大光院

大光院は太田市金山町にある浄土宗の寺院。山号は義重山。詳名は義重山大光院新田寺。通称「子育て呑龍（こそだてどんりゅう）」「呑龍様」もしくは「呑龍さま（どんりゅうさま）」

子育て呑龍（安土桃山時代・江戸初期の浄土宗の僧）呑龍は当時、多くの子どもが間引かれて殺されていたことを悲しみ、これらの子どもを弟子として引き取って育てたため、後世の人々から子育て呑龍と慕われた。慶長18年（1613年）、徳川家康が先祖とする新田義重を祀るために呑龍を招聘して創建。境内裏には、新田義重や呑龍の墓がある。境内の「大光院臥龍の松」は呑龍上人が開山したときに植えたと言われる樹齢500年とも言われている銘木



4. 金山城跡

戦国期、関東七名城の一つとされていた金山城。数々の城主を守り抜いてきた難攻不落の名城。文明元年（1469年）岩松家純（新田一族）によって築城され、下剋上によって城主となった由良氏の時代に全盛を迎える。上杉謙信や武田勝頼などから10数回攻撃を受けるが、一度も落城することなく、その堅固さを誇った。しかし小田原北条氏の謀略に落ちて支配下となっていた天正18年（1590年）、豊臣秀吉の北条氏征伐により金山城は廃城となった。新田義貞公を祭る新田神社は明治8年（1875年）に金山城本丸跡に建立された。

太田市史跡金山城跡パンフレットより